第14回錯視・錯聴コンテスト応募作品

氏　名：櫻井研三（さくらい　けんぞう）

所　属：東北学院大学　人間科学部　心理行動科学科（2023年4月開設予定）

連絡先：櫻井研三（sakurai(at markに置き換えてください)mail.tohoku-gakuin.ac.jp）

**作品タイトル：**折れ線グラフ錯視

**作品動画と観察上の注意：**添付の動画ファイルをご覧ください。この錯視は大きく表示すると効果が弱まるようです。全画面表示なら13インチ程度の画面か、動画再生のウィンドウを小さくしてご覧ください。

**解説：**2022年9月13日の朝日新聞に掲載された内閣支持率調査記事のグラフが縦軸の目盛より下にズレているように見えたのがきっかけです。同じグラフを再現して調べてみると、支持率と不支持率が逆転して、折れ線グラフが最後に交差していることが要因のようです。交差する折れ線全体を上下反転させると、錯視の方向が反転して目盛より上にズレて見えるようです。グラフを作成する機会が多い人にはよく知られている現象なのかもしれません。目盛のある縦軸から遠い場所で折れ線が交差するグラフの読み取りには注意しないといけないようです。グラフはデータの視覚化の手段としてよく用いられますが、特定の条件下ではデータそのものを正しく見ることが難しい場合があることを、この錯視は示していると思います。